



MS145-18001

水温センサー用アタッチメントセット

取付・取扱説明書

この度は86用TRD水温センサーアタッチメントをお買上げ頂きありがとうございます。
 開封時に商品の外観に傷、凹み等の無い事を確認下さい。本書には上記品の取付・取扱について
 記載してあります。取付前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取扱いを実施して下さい。
 なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

■品番・適合

品番	適合車種	型式	エンジン	年式	備考
MS145-18001	86	ZN6	FA20	'12.04～	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<<http://www.trdparts.jp/>>

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	アタッチメント本体		1	
②	ホースバンド		2	
③	取付・取扱説明書(本書)		1	

はじめにお読み下さい

- この説明書には製品を装着～使用する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになり正しくお使い下さい。内容を守らずに発生した事故、故障等の損害に関しては責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- この説明書はいつでも取出して読めるよう、大切に車内に保管して下さい。
- この製品は説明書に記載のパーツリストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合の際は販売店にご連絡下さい。
- 車両に本製品以外のパーツ取付けや改造を行った場合に発生する不具合に関しては責任を負いかねますのでご了承下さい。
- お客さま本人又は第三者の方が、製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本製品及び付属品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

警告

- ⚠自動車部品の交換は、本来整備の整った自動車整備工場にて専門教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。作業を行う場合は、必ず車が動き出さないような措置をして下さい。
- ⚠幼児・子供・ペットを伴った作業はしないで下さい。部品を飲込む等、思わぬ事故に繋がる場合があります。

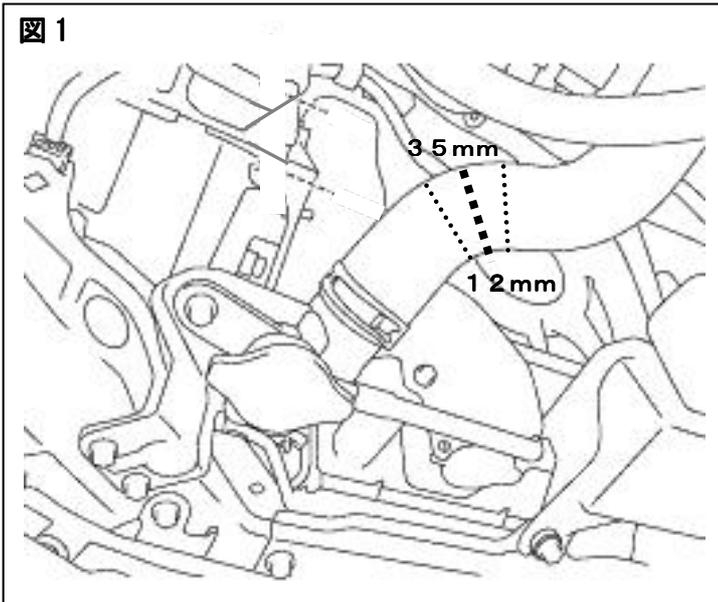
取扱について

注意

- ⚠購入者本人が取付けを行った場合は保証の対象外となりますので、必ず設備が整い、自動車修理の有資格がいる整備工場に取り付けて下さい。
- ⚠本製品に加工や改造を加える事をしないで下さい。取付に支障が生じるばかりで無く、保証の対象外となります。
- ⚠本商品を装着前に落としたり、車両への装着時や取付時に無理な力を加えないで下さい。部品の破損やセンサー本体の取付不良が発生する原因となります。
- ⚠センサー配線の取回しについては、必ずエンジンルーム内の不動部を利用し確実に固定して下さい。

水温センサーアタッチメント取付作業

図 1



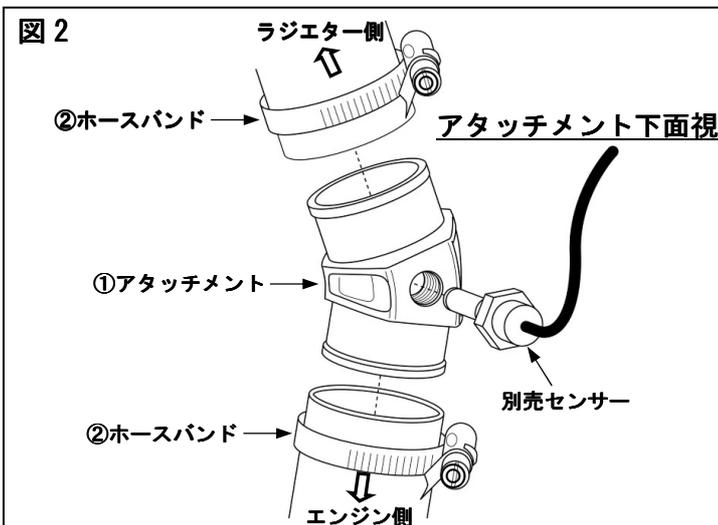
1. ラジエターホースの切断

1. 冷却水を1L程度抜き、ラジエターUPRホース外す、又は取付状態のまま図1に示すラジエターUPRホースの・・・部分を切断する。
2. 切断部からエンジン側、ラジエター側にホース外側は17.5mm、内側は6mmをつないだ線・・・を切増し、それぞれ35mmと12mmのアタッチメント取付スペースを確保する。

▲注意

- ・冷却水が冷えている事を確認し作業して下さい。
- ・アタッチメントの取付スペースを確保する際にホースを切り過ぎないように、数回に分け、確認しながらカットして下さい。
- ・図1のように切り口は斜めカットになりますので注意して下さい。

図 2



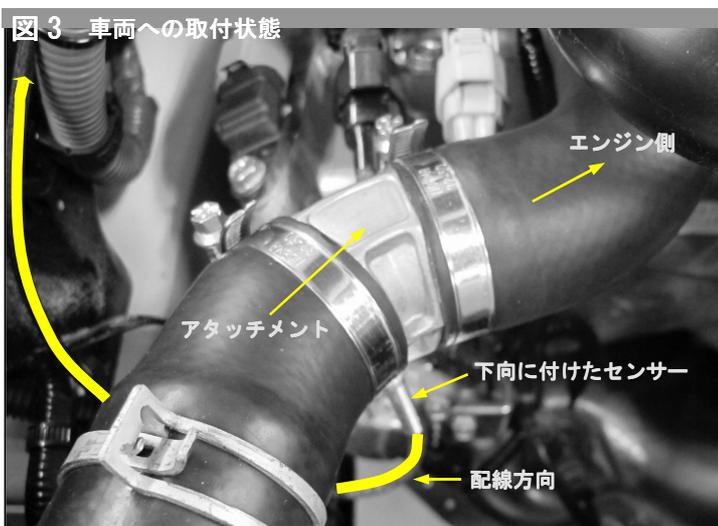
2. アタッチメントの取付け。

1. 水温センサーのネジ部にシールテープを巻く、又は漏止剤を塗布し構成部品①アタッチメントに差込んで、しっかりと締付ける。(12.2~17.1N・m)
2. 図2のように、切断したホース両側に構成部品②のホースクランプを架ける。
3. 切断したホース部にセンサーを取付けた水温アタッチメントをセンサーが下向きになるように挿入しクランプを締付ける。

▲注意

- ・冷却水漏れの無いように確実に締付けて下さい。
- ・全ての作業終了後、冷却水を補充してエンジンを始動し暖気、エア抜きを行って下さい。
- ・エア抜き終了後にラジエターキャップを取付けて数回レーシングした後にアイドル状態にて漏れの確認を実施して下さい。

図 3 車両への取付状態



3. センサー配線の取回し(参考)

1. 図3のように、センサーを下向きにし取付ける。
2. センサーの配線は、エンジン回転部分に干渉しないように注意し、黄矢印のように右側の車両ハーネスに沿わせてヒューズボックス下へ通す。
3. ストラットタワー部から車両の左右パフオーマンスロッドに沿って車両左側へ渡し、車両メインハーネスグロメット部より車内に入れる。

▲注意

- ・センサー配線に弛みが出ないように随時、結束バンド等で固定して下さい。
- ・センサーリード線を車両ハーネスへの固定の際、最初の固定箇所とセンサー本体には、エンジン始動時等に張りが出ないように多少の余裕を持たせて下さい。